

【技術、事業部門対象】パテントマップ活用事例で学ぶ

競合企業に勝つための

「知財力強化」入門講座

— 知財力を高める「技術課題と解決手段」についてパテントマップの作成と活用事例を中心に解説 —

●日 時● 2014年 8月 27日(水) 10:00~17:00

●会 場● 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』

講 師

独立行政法人 産業技術総合研究所

ナノシステム研究部門 技術専門職(知的財産) 栗原 健一 氏

【経 歴】 ㈱リコーで知財実務経験 30 年。この間、発明発掘から権利化、ライセンス、日米特許訴訟、特許情報の活用推進などの各種活動に従事。ポールの事件原告勝訴側責任者など複数企業での知的財産部要職、トムソンウエント等でのコンサルタント、研究員を歴任。パテントマップを活用した戦略的発明の抽出を得意とする。講演、著作等多数。現在、(独)産業技術総合研究所で知財業務、技術移転業務を行う。

◆ 開催にあたって

本セミナーでは、競合企業に勝つための手段としての「知財力」強化につなげる様々な実践方策を解説いたします。

はじめにパテントマップの活用を通じた競合企業分析手法の事例を紹介し、出願戦略の策定、基本発明の考え方、パテントポートフォリオの構築を具体的に考察します。これらを考察した上で研究開発・事業部門の知財力強化を図ります。さらにセミナーでは、実際にテーマ(即席めん)を用いながら技術動向分析の具体的手法を実践的に学びます。

《ご参加対象》

技術、事業部門を中心に特許を通じた技術動向、他社動向分析の手法を初歩から学びたい方

《詳細は裏面をご覧ください》

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

* 当会ホームページ (<http://www.bri.or.jp>) からもお申込みいただけます。

●受講料● 1名(税込、昼食代、資料代含む)

正会員	41,040 円	本体価格 38,000 円
一 般	45,360 円	本体価格 42,000 円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。

後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書を FAX にてご送信いただく際は、FAX 番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますことでもありますので、ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会

担当：木村 E-mail kimura@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MT ビル 2F

TEL 03-5215-3513 FAX 03-5215-0951

141403-1010		2014.8.27	
[申込書] 競合企業に勝つための「知財力強化」入門講座			
会社名	フリガナ		
住 所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所 属	
		役 職	
E-mail			
ご氏名	フリガナ	所 属	
		役 職	
E-mail			

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

競合企業に勝つための「知財力強化」入門講座

●プログラム●

10:00

I. 特許調査とパテントマップ

特許調査の仕方、特許分類:IPC、FI、Fタームの活用

II. 競合他社分析手法の事例紹介

【紹介事例】

- ・青色発光ダイオード 日亜化学対豊田合成
- ・液晶テレビ（バックライトLED） シャープ対サムスン
- ・即席麺 日清食品対サンヨー食品（現在侵害訴訟中）

↓ 上記の事例から以下の2点を読み解きます。

(1) パテントマップからの競合他社の強み・弱みを分析する

- ・競合他社の開発動向の分析
- ・競合他社の重要出願を見極め、分析、対策

(2) パテントマップからの自社特許の棚卸と特許評価

- ・戦略出願の特定
- ・請求項（クレーム）のレビュー

12:00

昼食休憩

13:00

III. 出願戦略の策定

- ・国内優先出願、早期審査、分割出願、拒絶査定不服審判

【事例】キルビー特許、数千億円の特許実施料

- 外国出願、特に米国出願（仮出願を含む）

IV. 基本発明の考え方、請求項の書き方

【事例】プロセスカートリッジ(キヤノン)、カップヌードル(日清食品)

- 請求項の記載（文言）の解釈

【事例】

- キルビー特許訴訟、数千億円の特許実施料
- ボールスプライン特許 均等論解釈の基本案件

V. パテントポートフォリオの構築

- ・特許網の構築 — 構築の事例紹介
コア技術の特許網の展開

【事例】プロセスカートリッジ(キヤノン)、青色発光ダイオード(日亜化学)

VI. 研究開発・事業部門の知財力強化を図る

- ・パテントマップ作成とその分析力の向上
- ・特許網のデザイン力向上
- ・特許請求項の範囲（クレーム）の作成とその向上
- ・特許請求項の範囲（クレーム）のレビュー（他社製品動向、自社開発・製品の状況）
- ・パテントリエゾンの必要性
産総研における研究者の知財力強化の取り組み
- ・知財部門とのコミュニケーションの図り方
- ・特許事務所との付き合い方

演習 具体的ケース「即席めん」を用いながら競合企業を分析する

【演習ケース】「即席めん」

演習のステップ

- ① 演習に関する説明と演習ケースのポイント解説
- ② 演習ケースに関する特許公報を確認し、特許マップを検討
- ③ 特許マップを基にしながら演習ケースを検証

17:00